



臘梅の双葉だきあふ冬芽かな

西古泉 吉見 シナヨ

愛着の上着繕ひ冬籠る

上高柳 霜 田 澄子

山寺の改修遅々と雪うづむ

西高柳 坂 本 マサ子

爺婆の嬰うばひ合ふ初湯かな

清貧に生きて健やか去年今年

北黒田 中尾 宜子

瞳を入れて猪走り出す賀状かな

巷間の書店にたたむ時雨傘

西古泉 二宮 辰子

雪霏々と静かに混める献花台

一瞬はどっと炎を立て菊の烟けむ

西古泉 松原 とく子

一生を漁村に住めり石路の花

松山市 重岡 尚美



編集後記

月日が過ぎるのは非常に早いもので、今年早くも1ヶ月が過ぎましたが、皆さんは2007年がどんな年になってほしいと祈願されましたでしょうか。

2006年は一年の世相を表す「今年の漢字」に「命」が選ばれました。秋篠宮妃紀子さまが悠仁さまをご出産された「生」という明るい話題の一方、いじめによる子どもの自殺が社会問題化するほか、飲酒運転による死亡事故が多発するなど「死」という暗い面が共存した年であり、あらためて「命」の重みを再認識させられた年ではなかったでしょうか。少子高齢化が急速に進むなかで、議会としては町民の「命」(健康・福祉)を大切にしている行政運営がなされるよう、厳しくチェックしてまいります。